

指導事項との関連表（5年）

領域・事項	内容	5年																																																		
		5年																																																		
知識及び技能	※指導事項及び言語活動例との関連は○印（うち重点指導事項は◎印）	わたしの文章見本帳	漢字を使おう10	手塚治虫	漢字を見つけて書こう9	資料を見て考えたことを話そう	方言と共通語	どう考える？ もしもの技術	考えのちがひ	漢字を使おう8	～ロボットと未来について考えよう	いにしえの人のえがく世界	漢字を使おう7	漢字の世界を広げよう	日本語と外国語	心情を表す言葉	漢字を使おう6	人物像について考えたことを伝え合おう	大造じいさんとがん	和語・漢語・外来語	提案します、一週間チャレンジ	熟語の構成と意味	和の文化を発信しよう	文章と図表	和の文化を受けつづけることについて考えよう	どうやって文をつなぐべきか	漢字を使おう5	物語のおもしろさを解説しよう	漢字を使おう4	問題を解決するために話し合おう	心の動きを短歌で表そう	未知へ	五年生の本だな	書き手の意図を読み比べよう	新聞記事を読み比べよう	思考に活かす言葉	漢字を使おう3	物語の組み立てについて考えよう	世界でいちばんやかましい音	いにしえの言葉に親しまおう	漢字の成り立ち	地域のみりよを伝えよう	事実と考察	漢字を使おう2	要旨をまとめ、自分の考えを伝えよう	インターネットは冒険だ	歌語	知りたいことを聞き出そう	図書館へ行こう	漢字を使おう1	おにぎり石の伝説	集めよう、よいこえ
		ア 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	イ 話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。	ウ 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。	エ 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の目的の学年にまでに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	オ 思考に活かす言葉の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使いかたに対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。	カ 文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。	キ 日常よく使われる歌語を理解し使い慣れること。	ク 比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。	ケ 文章を音読したり朗読したりすること。	ア 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。	イ 情報と情報との関係付けの仕方、因などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。	ア 親しみやすい古文や漢文、近代以降の分語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。	イ 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。	ウ 語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。	エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。	オ 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。	ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。	イ 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考へること。	ウ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。	エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。	オ 互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。	ア 意見や提案など自分の考えを話したり、それらを開いたりする活動。	イ インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。	ウ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。	ア 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。	イ 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考へること。	ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたりするのと同時に、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。	カ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。	ア 対象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。	イ 短歌や俳句をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。	ウ 事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことや自分についての意味について文章に書く活動。	ア 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえて、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。	イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。	ウ 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。	エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考へたりすること。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。	カ 文書を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。	ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。	イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。	ウ 学校図書館などを利用して、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。									
思考力・判断力・表現力等	書くこと	（1）指導事項	（2）言語活動例	（1）指導事項	（2）言語活動例	（1）指導事項	（2）言語活動例	（1）指導事項	（2）言語活動例																																											
		（1）指導事項	（2）言語活動例	（1）指導事項	（2）言語活動例	（1）指導事項	（2）言語活動例																																													